

Progress and efforts towards UHC 2030 in Myanmar

講師 石井羊次郎 先生

長崎大学 熱帯医学・グローバルヘルス研究科
教授(平成30年1月就任予定)



石井羊次郎氏は、JICA職員として約31年在籍し、バングラデシュ事務所、パキスタン事務所等での勤務も含め主に保健医療分野の開発援助事業の計画と管理に従事、退職後もJICA客員専門員として我が国のグローバルヘルスへの参画の促進に尽力されてきました。そして2014年12月から3年間にわたりミャンマー保健システム強化プロジェクトのチーフアドバイザーとしてミャンマーの首都ネピドーに駐在し、保健スポーツ省をカウンターパートとして同国の保健医療システムの強化支援に従事しました。2010年代初頭にそれまで30年以上続いた軍事政権から脱却し、民主化に舵を切りだしたミャンマーは今、2030年までにすべての国民に必須保健医療サービスを提供するUHC2030の達成に向けた取り組みを展開中です。石井先生には、開発協力の現場で見たUHC達成に向けたミャンマーの取り組みをご紹介します。

講演終了後にリフレッシュメント、意見交換の場を設けます 奮ってご参集ください。

日時

平成30 年1月27日(土) 16:30 ~ 18:00

会場

長崎大学
NCGMサテライト

東京都新宿区戸山1-21-1

国立国際医療研究センター

情報センター棟2階

TEL 03-6278-9970

場所がわかりにくいので時間に余裕をみてお越し下さい。

主催

長崎大学大学院

熱帯医学・グローバルヘルス研究科

【お問い合わせ】095-819-7583

事前登録不要です。

